

# 令和4年 第12回 愛別町教育委員会 会議録

- 1 招集年月日 令和4年12月5日(月)
- 2 招集場所 愛別町総合センター 第1会議室
- 3 開 会 令和4年12月9日(金)午後2時30分～

## 4 出席委員

職名	氏名	出欠	職名	氏名	出欠
委員	長屋 修二	出	委員	菊地美智子	出
委員	森定 典子	出	教育長	馬場 信明	出
委員	三嶋 健嗣	出			

## 5 会議に出席したものの職氏名

教育次長	谷田 道明
主幹	河合みどり
総務学校教育係長	太田 温子
教育推進アドバイザー	山村 美勝

## 6 教育長提出議題

議案第1号 愛別町小中一貫教育の全面実施に向けた推進計画について  
議案第2号 教育委員会の意見を聴取する令和4年度教育委員会補正予算について

## 7 議決事項

議案第1号 原案可決  
議案第2号 原案可決

## 8 協議・その他

発 言 者	会 議 録 (1)
谷田次長	それでは皆さんお疲れ様です。今日は、委員さん全員出席ですので、教育長よろしくお願い致します。
馬場教育長	皆さん、改めましてこんにちは。先週から雪がずっと降って、すっかり根雪となり、冬将軍の到来を感じているところです。前回の会議から少し間隔があきましたが、その間、11月3日には教育表彰式が実施されました。人形劇団キノッピーの皆さんが輝く良い機会になったと思っております。新型コロナウイルス感染症は全道的、管内的にも若干の減少はありますが、高止まりが続いています。そのため、町内の行事や事業等も中止や延期になったケースもありますが、町内の学校教育、社会教育活動は、感染症対策を取りながら工夫して進められてきております。今後、国の対応策の変化を踏まえながら、引き続き基本的な感染症対策の徹底を図った上で、学びや活動を継続して行ってほしいと思っております。本日は、小中一貫教育の完全実施という本町の大きな教育課題を取り扱いますので、慎重審議をよろしくお願い致します。また、この会議のあとに総合教育会議も予定されておりますので、ご協力をよろしくお願い致します。 それでは、ただ今より、第12回教育委員会会議を始めます。本日の会議録署名委員は森定委員です。よろしくお願い致します。前回の会議録がお手元に届いているかと思いますが、お気づきの点等がありましたらお出しただければと思います。
委員	よろしいでしょうか。
委員	はいの声。
馬場教育長	それでは、前回の会議録は承認されたことといたします。続きまして、教育長報告に移ります。資料に沿って、主なものを報告させていただきます。 (前回の第11回教育委員会会議以降の動向について説明) 報告に関わりまして、何か質問等があればお願い致します。 なければ議案審議に移ります。
委員	はいの声。
馬場教育長	議案第1号「愛別町小中一貫教育の全面実施に向けた推進計画について」を議題といたします。事務局のほうから説明をお願いします。
谷田次長	(議案第1号の朗読)
谷田次長	(議案第1号の説明)
馬場教育長	説明がありましたけれども、ご質問等がありましたらお願い致します。
長屋委員	場所ってどこなの。それはこれからの話だと思うんだけど。
馬場教育長	そうですね、これからの話になります。
長屋委員	小中一貫は良いんだけど、どっちの校舎も古くなっているから。令和8年には工事が完了して、令和9年には引っ越し。すぐですよ。

発 言 者	会 議 録 (2)
馬場教育長	<p>決まっていないことがたくさんあるんですけども、来年度に準備委員会的なものを立ち上げて、5ヶ月から半年くらいかけて関係者と協議しながら、教育内容と、それから教育施設を総合的に考えていくようなことになるのかなと、そんなふうにイメージしていただいて。ですから、今、場所の話もしていましたけど場所とかもまだ一切ないんです。</p>
長屋委員	<p>場所は決まっていらないですね。計画なんで、決定ではないですよ。</p>
馬場教育長	<p>このビジョン委員会の中では、施設の面に関わっては、こういうパターンがあるだとか、結構詳しいところまでは出してはいるんですけども。参考資料にそれもつけています。</p>
長屋委員	<p>ビジョン委員会の資料、一番最後を見たら、検討案Aと検討案Bで、検討案Aは小学校は小学校で直す、中学校は中学校で直す。でも、Bのほうにいったら小学校に中学校を一体化するっていう感じですね。どっちの校舎も前から、小学校も直して耐震化もするっていう話もあったが、できないでここまできちゃっている。</p>
菊地委員	<p>ちょっと量が多すぎて、事前に資料をほしかったですね。この短時間では読み切れないです。</p>
菊地委員	<p>雨竜町って一体型なんですか、併設型なんですか。</p>
谷田次長	<p>雨竜町は、聞いたところ、小学校と中学校が国道を面してあって、両方とも老朽化していて何とかしなきゃということになったそうなんです。それで、残すほうを中学校にして、小学校を中学校のほうに移設というか、道路挟んだ中で、1階が小学校、2階が中学校みたいな、そういう建物のように、階で学校を分けた建物にしたようです。</p>
菊地委員	<p>では、施設一体型になるの。</p>
谷田次長	<p>そうなんですけど、義務教育学校にはしていなくて、小中一貫もやっと始めたばかりみたい。元々、一体になったのは平成26年とか27年とかなんですけれども、その時はただ施設を1つにまとめた。ただ、管理経費はかなり違うらしく、2つあるよりも半分以下くらいになるというお話です。しかし、小中一貫にしたのは最近だということですが、施設はその前から一体になっているということです。</p>
菊地委員	<p>経費の面では、一体型のほうが良いんでしょうね。</p>
谷田次長	<p>暖房とかどういうものにするかにもよるかと思うんですけども、やはり今、小学校と中学校でみても、小学校は集中暖房なのでボイラーをずっと焚いているというところをいくと、ものすごく油代がかかります。中学校は個別暖房なのでそういった面ではだいぶ違うんですが、暖房をどういうものにするかということでも違ってくるのかなっていう感じはします。電気もこれからだと、当然LED</p>

発 言 者	会 議 録 (3)
	<p>になってくると思うんですけども、中学校も体育館がLEDになっているので</p>
菊地委員	<p>小学校のほうが施設的には大きいとは思いますが、電気代はかなり違いますね。 施設一体型になったときには想像もつかないというか、小学生と中学生が一緒になるってことですよね。どうなのでしょうね。でも実際に見に行ったら想像もつくのかなと思うんですけど。</p>
馬場教育長	<p>そういうことも含めまして、年が明けたら、何校か、近くに比布もあるんですけども、例として雨竜だとか、いくつか書いてあるところを見ていただいて、具体的なイメージを持っていただく中で、愛別にとってどういう施設が良いのかそしてどういう教育が可能なのか、そういうことを皆さんで知恵を出しながら考えていけたら良いのかなと。</p>
菊地委員	<p>近隣ではここぐらいですか。</p>
森定委員	<p>近隣では、比布はまだ一体にはなっていないんですか。</p>
馬場教育長	<p>いや、比布は義務教育学校になっています。そして、義務教育学校になっているのは、管内的には、占冠のトナムと富良野の樹海がなっている。今度、名寄の智恵文がなると思うんですけども。それで、一体っていうのは、1つの校舎で小学校と中学校が入っているのも一体だし、小学校と中学校の校舎が別々になっ ていてもつながっていれば一体っていう定義、おさえみたいなんです。だから、建物的に小と中が別々になっていたとしてもつながっていれば一体ですよって いうことですね。</p>
森定委員	<p>それで比布は体育館が共有なんですよね。</p>
馬場教育長	<p>そうですね。</p>
森定委員	<p>それで、小学校があつて、その裏に体育館があつて、中学校が体育館に並んで 新しく建てたんですよ。</p>
菊地委員	<p>それでも、授業始まる前のチャイムが聞こえてくるんですけど。離れていたら聞 こえないのかなと思ったんですけど。</p>
馬場教育長	<p>前に質問されていましたが、そういうのも実際に見てみたらね。今度、職員 室が比布は一緒になるって、そういうふうな話をしていました。</p>
長屋委員	<p>1年生から9年生までって言い方なのかい。</p>
馬場教育長	<p>義務教育学校になるとそういう言い方ですね。</p>
長屋委員	<p>小中一貫だったら、小学校は6年生まで、中学校は1年から3年生までという ことになるのかい。施設のつくりは別にして、言い方としては。</p>
馬場教育長	<p>小と中が分かれていて、併設型の一貫校であれば、小学校は6年生、中学校は 3年生ってなるんですけども、義務教育学校っていうふうになると1年生から 9年生まで。</p>
長屋委員	<p>そうすると、先生方も一緒。ということは、校長も1人ということ。</p>

発 言 者	会 議 録 (4)
馬場教育長	義務教育学校は1人ですね。小と中に分かれていたら、小、中それぞれに校長はいます。
長屋委員	話はいっぱい聞いているんだけど、現実を見ていないもんだから、よくわからない。
森定委員	見に行かせてもらったらね、想像もできるんだけどね。
馬場教育長	資料の11ページですね。愛別で目指そうとしているのは、ここに書いてある義務教育学校か、中学校併設型の小学校と小学校併設型の中学校ですか。そのこの部分のどちらかになります。一番右側のほうの連携型小学校とか中学校っていうのはちょっと違うんですね。
長屋委員	併設型と連携型とね。何が違うのかよくわからないんですけれども。肝心の予算的な話っていうのは、目途はついてるんですか。単品で小学校直すのだからって全然計画はあったけど話が進まないで終わっちゃったんだけど。
馬場教育長	このあと、総合教育会議がありますので、その中で、教育委員会としてこういう計画を立てて進めますという話をします。
長屋委員	そうですね、予算つくるのは私達の仕事じゃなくて別な行政がやることですね。
馬場教育長	そういうような流れになるのかなと思いますが、事前にある程度、町長や副町長にも情報は提供してある中で、ダメだっていう感じではなかったもので、むしろ色々な課題があるのでやるべきではないだろうかっていうようなお話はいただいております。
長屋委員	そうすると、今、ここで話し合っているのは、こういう計画っていうか提言をしていいかどうかっていう話ですか。
馬場教育長	この推進計画を、ここで承認していただいて、これを町のほうに提出して、こういう計画で進めますので、協力してもらいたい、お願いしますっていう流れになると思っています。
馬場教育長	どうでしょうかね。
馬場教育長	進め方は色々あるのかなっていうふうに思うんですけれども、1つずつ積み重ねていくというようなことがあります、今回は本当にゴールを示して、そこに向かってやっていこうというような流れで考えております。
長屋委員	それは良いか悪いかっていう話ですか、ここで。
馬場教育長	ご意見をいただければと思います。
長屋委員	本来はもう、とっくにあっちこっち直していなきゃいけないんですよね、いじっていない部分、全然手遅れなはずだと思う。だから、この話は、今でなくてももう前々からあちこちでそんな話、言っている方もいたので、私的には、当然こういう方向性を提案するべきだとは思いますがけれども。

発 言 者	会 議 録 (5)
馬場教育長	ありがとうございます。
長屋委員	ただ、提案は提案なんですけど、どこにそんな金があるのかって言われそうだけど。
馬場教育長	そこも含めてこれから協議していくことになるんだと思います。理想の学校の話をしていくと、こんなこともやりたい、あんなこともやりたいということが出てくると思うんですよ。こういう施設もあつたら良いつて。でも、町の財政の現状だとか、そういうようなことも考えなきゃいけないですよ。そうしたら、どこで折り合いをつけながらやっていくのかっていうことを、これからやっていくようなことになるとは思っているんですけども。それは、準備委員会で、そういう委員の皆さんにお願いしながら進めていかなければいけないかと思っています。
長屋委員	今、現実の小学校だつて、本当は耐震やらないといけないんですよ。
谷田次長	耐震は終わっているんです。
長屋委員	終わっているのか。そうしたら問題はない。
谷田次長	耐震は終わっているんですけども、例えばボイラーです。ボイラーは多少は直しているんですけど、教室とかにいつている配管だとかは、建設当時のままですので、かなり熱量もどうなのかなと思いますし。
長屋委員	そうしたら耐震のことはいいんだね。中学校もいいんだ。
谷田次長	中学校も良いです。耐震はいいんですけど、老朽化ですよ。
長屋委員	どっちも老朽化でしょ。それと今言った暖房だとか、電気だとか色々あるでしょう。
谷田次長	電気は、総合センターもこれ壊れたら全部取り替えないとダメなんですけど、小学校もそういう感じなんですよ。なので、色んな部分で。
長屋委員	だから、それを小中一貫にしてね、体育館1つにして校舎別々にやるのか、色々やり方はあると思うんだけど、それを我々が理想的だと思っても、あと子ども達、親達がどう考えるのかは私もわからないんだけど。
菊地委員	この計画がなくなることもあり得るんですか。
谷田次長	老朽化っていうのが、今年くらいで補助メニューからなくなるんですよ。長寿命化っていうふうに変ってきているので、長寿命化で個別に直していくことになると思います。やはり、2つ建てるっていうのは、かなり大きなリスクもあるんじゃないかというふうに思いますので、直しながら使っていくという方法、この計画でなければそういう方法になるのかなという気がします。1つにするか2つのままでやっていくかっていうところではないかと思います。
長屋委員	なんで中学校、あそこに持って行ったのかな。あそこに置いておけば良かったのに。

発 言 者	会 議 録 (6)
谷田次長	<p>中学校の敷地関係を見ると、非常にあそこに小学校をくっつけるといいなという感じがするんですが、やはり避難所の関係で、洪水が来た時に堤防より低いということから、避難所としては大雨のときには使えないということも防災上あります。ですが、中学校のほうが敷地的には広くあるかなというふうには思うんですけれどね。</p>
長屋委員	<p>今のあいべつ校だって、元々、中学校と高校が一緒というか並びだったんだから。あれだけ生徒数いた時代に同じグラウンド使ってたんだからね。そこから抜けて、今の中学校があるんだからね。</p>
菊地委員	<p>小学校とかできたときには中学生も入れますよね。小学校に空き教室かなりあるし。建て替えになると、そのあと生徒がどこに入るかって思うけど。昔、古い校舎があって、建て替えていますよね。</p>
谷田次長	<p>前に古い校舎があって。</p>
菊地委員	<p>そうですね。</p>
谷田次長	<p>だから、ああいうちょっと中途半端っていうか、階段になって上がるような感じになっている。</p>
馬場教育長	<p>ですから、推進計画の中では目指すところは一体型ですね。目指すんですけど色々協議して、町の財政的にも厳しいとかそんなふうな状況になれば、やはり長寿命化のほうに傾いていく可能性はないっていうわけではないというふうには思っていますね。でも一体化は目指したい。</p>
菊地委員	<p>うちの学校も空き教室が多くなってもったいないですよ。</p>
谷田次長	<p>学校教育法が変わって、障がいのある方への配慮という部分で、空き教室も特別支援学級になってきているので、あるようでなかったりしますね。</p>
馬場教育長	<p>本当にこの先、教育の流れ、学校の果たす役割も従来のイメージしているものからちょっと変わってくるっていうか、学校って毎日通っているけど、本当に毎日使うようになるのかどうかだとか、そんなようなことももしかしたら出てくるかもしれないんですけども、ちょっと考えすぎかもしれないんですが、最新の情報とかも得ながら、愛別としてどういう教育をやるために、どういう施設がいいのかということを考えていって進めていくのがいいのかなと思います。</p>
馬場教育長	<p>今進めなければっていうご意見もいただきましたので、よろしいですか。</p>
委員	<p>はいの声。</p>
馬場教育長	<p>では、議案第1号については原案のとおり可決するということにいたします。続きまして議案第2号「教育委員会の意見を聴取する令和4年度教育委員会補正予算について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。</p>
谷田次長	<p>(議案第2号の朗読)</p>
	<p>(議案第2号の説明)</p>

発 言 者	会 議 録 (7)
馬場教育長	ただ今、説明がありましたが、この件につきまして何かご質問等がありましたらお願い致します。
長屋委員	やはり、小学校の燃料代はすごいんだね。
谷田次長	すごいですね。
長屋委員	値上がりはどこでもしているんだけど、中学校と比べてもすごい額だよな。
谷田次長	そうですね、中学校は5万リッターくらいですけど、小学校は年間6万8千とか7万リッターくらい使うんですよね。それに単純に30円かけても200万円以上になりますので。
馬場教育長	あとはよろしいですか。 なければ議案第2号については原案のとおり可決することによろしいでしょうか。
委員	はいの声。
馬場教育長	ありがとうございます。以上で議案審議は終了しました。次に協議・その他と いうことで、事務局から何かありますか。
谷田次長	(はたちのつどいと今後の日程について説明)
馬場教育長	(中央部8町教育委員研修会について説明) —協議—
馬場教育長	あと、皆さんから何かございませんか。
委員	ありませんの声。
馬場教育長	なければ、以上で閉じさせていただきます。以上をもちまして第12回愛別町 教育委員会議を終了いたします。大変お疲れさまでした。
	令和4年12月9日 午後3時48分終了
	会議録署名委員 森定典子
	会議録作成者 谷田道明